

夏秋トマト隔離型培地耕（3S）システムの開発

Small amount Separated cultivate-system for Solanaceae



研究の背景と目的

- 夏秋トマトは49億円(H28)の売り上げを誇る岐阜県の主力農産物
- 経営安定のために、10アールあたり収穫量の向上と土壌病害の克服が必要

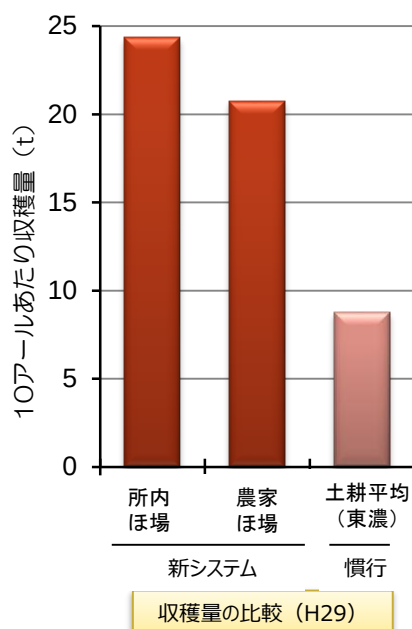
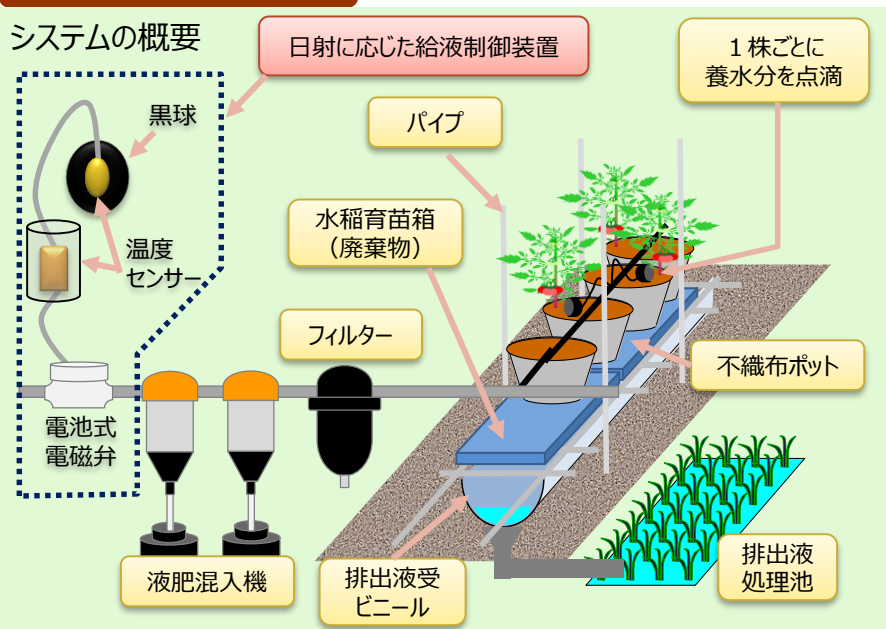


夏秋トマト栽培に適した安価で多収穫できる栽培システムの開発



研究の成果

システムの概要



特徴

- 不織布のポットに1株ずつ栽培することにより、土壌から隔離し、病害リスク低減
- 草姿のスリム化により密植栽培
※10aあたり約3,300株（従来の栽培方法では約2,000株）
- 簡易な制御装置で、天候に応じた養水分管理
※オリジナル自動給液システム
- 農家が手作りできる簡易な構造と安価な資材で低コスト化
※10アール当たり約200万円（設置費含まず）



従来の栽培方法に比べて
2倍以上の収穫量 (20トン/10a)



岐阜県中山間農業研究所

【本所】〒509-4244 岐阜県飛騨市古川町是重2-6-56

Tel (0577) 73-2029 Fax (0577) 73-2751

【中津川支所】〒508-0203 岐阜県中津川市福岡1821-175

Tel (0573) 72-2711 Fax (0573) 72-3910

中山間 研究所

検